

米軍への思いやり予算を凍結し、被災地救援に充てる事を求める要請

総理大臣 殿
外務大臣 殿
防衛大臣 殿

2011年 月 日

署名呼びかけ人 「思いやり」は被災地へ 有志一同

(安里英子・安次富浩・岡本由希子・高里鈴代・

宮里洋子・山口洋子・与那嶺芳子ほか)

那覇市久茂地3-29-41 久茂地マンション401 TEL: 098-861-1101

2011年3月11日、巨大地震と津波は一瞬のうちに住民の命・家・仕事・車・船・飛行機・田畑等あらゆるものを飲み込んで、東北・関東地方に壊滅的被害を与え、今も余震が続く事態となっています。加えて原子力発電所の崩壊による放射能汚染は日本全国への拡散で、いつ終わるのか先行き不明の恐怖をもたらしています。報道によれば復興資金は(放射能汚染処理費は含まず)25兆円を下らないだろうと試算されています。

一方、菅直人内閣は昨年アメリカと米軍駐留経費(思いやり予算)を今後5年間にわたり、総額約1兆円を提供するという合意を交わし、3月31日成立させました。今分かっていることは、未曾有の災害が起こったこの東北・関東地方の復興に、途方もない巨額の資金と歳月が掛かるということです。

この事態に対し、日本政府は「思いやり予算」と米軍再編資金を凍結し、国家予算を大幅に組み替えて被災地の支援・復興、原発災害の収束に向けて国の持てる総力をあげるべきではありませんか。このタイミングでの「多額の思いやり予算支出決定」は、米国の名誉を損ねることになります。思いやり予算の凍結に向けてアメリカと再交渉すべきではないでしょうか。しかし6月21日、日米2プラス2会議において今後も「思いやり予算」を継続し、アメリカへ提供し続ける事を確認しました。

世界中が今日本に注目しています。しっかり復興の道筋をたてるためにも、アメリカの協力が不可欠です。困窮する日本へ、アメリカの真の「良き隣人政策」が今こそ必要です。

予算執行を凍結し、ただちに被災地救援に充てるよう、全力を挙げてご尽力されることを求めます。

お名前	ご住所

第1次集約 6月20日

第2次集約 11月20日

第3次集約 2012年3月20日

署名集約先 那覇市久茂地3-29-41 久茂地マンション401 群島舎 「思いやり」は被災地へ 有志一同

賛同団体・賛同人（2011年9月28日現在）

【団体】

沖縄平和市民連絡会 ☆ ヘリ基地反対協議会 ☆ヘリ基地いらない二見以北10区の会 ☆ ジュゴン保護キャンペーンセンター（SDCC）☆ 新聞うずみ火 ☆ 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 ☆ 沖縄生物多様性市民ネットワーク（沖縄BD）☆ 合意していないプロジェクト ☆ 大きなうねりを起こす会 ☆ 沖縄恨之碑の会 ☆ 琉球親鸞塾 ☆ 基地はいらない女たちの全国ネット ☆うちなんちゅの怒りと

と
もに、三多摩市民の会 ☆ 沖韓連帯民衆会議 ☆うるま市民ネット ☆ 沖縄県高等学校障害児学校退職教職員会（高退教）☆ヘリパットいらない住民の会 ☆「市東さんの農地を守る会 沖縄」☆ リサイクルショップじゅごんの海 ☆ 基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会—大阪 ☆ 岡本非暴力平和研究所（岡本三夫）☆ 京都沖縄県人会 ☆ 時を見つめる会 ☆ 命どう宝ネットワーク ☆ 「基地のない平和な沖縄をめざす会」☆ 愛知沖縄会議
☆JUCON(Japan-US Citizen's for Okinawa Network)

【個人】

大田昌秀・山内徳信・加藤彰彦・桜井国俊・我部政明・崎原盛秀・城間 勝・高良 勉・真喜志好一・平良 修・平良悦美・東恩納琢磨・海勢頭 豊・金城 実・山城博治・伊波義安・小橋川共男・由井晶子・長嶺律雄・大木晴子・上原成信・秋山 勝・宮城晴美・玉那覇正幸・須々田頭一・岡田耕子・本永春樹・玉城智子・久保礼子・仲西美佐子・KEN子・浦島悦子・まよなかしんや・大城博・田仲宏之・松井裕子・黒川俊夫・富田英司・山崎ひろみ・北上田毅・福仲 憲・渡部有幸・霜鳥美也子・石垣金星・新垣重雄・仲宗根京子・井口裕子・西岡信之・知念智慧子・村山友子・仲里房笑・川満昭広・平良識子・前川盛治・毛利孝雄・平良大和・中井光一・桑江直哉・内海正三・内海恵美子・栄野川盛正・間島孝彦・大城永子・川野純治・中村善栄・宮城勝己・碩健一郎・森川小百合・比嘉勝子・北村千賀・辻田之子・浅井真由美・石郷岡日出子・田場祥子・加藤賀津子・古荘斗糸子・山口明子・渡辺多嘉子・宮平光一・具志堅興作・阿部小涼・田崎真奈美・牧志 治・佐藤ゆずる・篠原孝子・浜川正浩・岡田富美子・嗟峨富美子・小松讓・渡瀬夏彦・川原和代・渡嘉敷喜代子・狩俣信子・多和田栄子・大村 博・照屋久子・浅見裕子・原田みき子・原田城二・源 啓美・渡具知武清・仲渡尚史・花輪伸一・玉城 毅・宮平のり子・池宮城紀夫・栗原佳子・豊田雅子・砂川かおり・ワッツ・ウエストン・儀保 昇・松葉孝雄・堰 守・土岡小竹絵・高橋きよこ（こたにきよこ）・比嘉真人・伊佐育子・仲沢照美・野田隆三郎・芳沢章子・花城静子・加藤富美子・寺尾光身・相沢 緑・山内 榮・前田恵子・太田武二・三石朱美・山本英夫・反町潤平・友寄隆治・友寄洋子・川越 弘・仲村實明・佐々木弘文

「思いやり予算は被災地救援へ」署名活動

7月14日、第一次集約分12,740筆を無事国会へ届けました。

ご協力下さった方々、本当にありがとうございました。

引き続き第二次(11月20日)署名に向けて新たな、より大きなうねりを起こして10万筆以上を目指したいと思います。

災害から4ヶ月以上経っても被災者への具体的な支援策が見えない中、国会ではアメリカへの「思いやり予算」だけは早々と成立させ、これから5年間、総額約1兆円、1日換算すると毎日約5億円が提供されようとしています。

「思いやり予算」執行を凍結させ被災者の支援に充てると、被災者が20万人として、1人当たり毎月10万円を3年間支給しても余るほどの金額です。今、被災地で不安な生活を強いられて居られる方々が待っているのは、こういう具体的な救援策ではないでしょうか。

一方、私たち庶民にも復興資金のための増税が取り沙汰され、電気料の値上げなど負担が増え、暮らしは大変になるでしょう。

私たちの納めた税金の使い方の問題です。米軍への軍事的予算に使うのではなく、被災者への救援に使わせましょう。どうぞあなたもあなたの出来るやり方でご参加ください。例えば ☆あなたが参加している会や団体の仲間に知らせる。☆署名用紙をダウンロードして拡げる。☆街中で街頭署名に挑戦する。等等。よろしく願いいたします。

2011年7月25日

署名呼びかけ人 「思いやり」は被災地へ 有志一同
(安里英子・安次富浩・岡本由希子・高里鈴代・
宮里洋子・山口洋子・与那嶺芳子ほか
)

那覇市久茂地3-29-41 久茂地マンション401 TEL:098-861-1101